

大田区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都大田区山王3-35-10長崎医院1F
施設名	カメラアキッズ大森園

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

英語に出会い、気づきを広げる

〈テーマの設定理由〉

身の回りの出来事に対して「これは何だろう」「どうしてだろう」と疑問をもつ姿が多く見られる。英語に触れる活動を通して、自ら気づき、考える経験を大切に、英語をきっかけとした探究心や学びへの意欲を育むことを目的として、本テーマを設定した。

2 活動スケジュール

令和7年4月～令和8年3月の期間で毎日実施。

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

英語の歌や音楽教材・フラッシュカード・英語絵本・スピーカー・活動記録用のカメラ・記録用紙

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

日常の遊びや散歩の中で見つけた物を英語で表現し、子どもの気づきや興味を受け止めながら関わった。

英語に触れることを通して、「見る・気づく・感じる」経験を広げられるようにした。

〈活動中のこどもの姿、声、こども同士や保育者との関わり〉

散歩では、見つけた物を指差し声を出して知らせようとする姿が見られ、伝えたい気持ちの芽生えや周囲への関心の広がりを感じられた。英語の言葉に触れると対象を見たり触れたりし、言葉と実物を結びつけようとする姿も見られた。子ども同士では同じ物を共有し関心が広がり、英語講師や保育者が気づきを言葉にすることで安心感や満足感を得て、自己肯定感が育まれている。



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

散歩や日常の遊びの中で見つけた物を英語で表現する中で、子どもたちは興味を示し、指差しや声で反応した。友だちと発見を共有する姿も見られ、英語を通して気づきや学びの芽が広がることを確認できた。今後も子ども自身の気づきを大切に、英語をきっかけに探究心を育てたい。

大田区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都大田区山王3-35-10長崎医院1F
施設名	カメラアキッズ大森園

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

協力・友達との関わりを促す

〈テーマの設定理由〉

友達と一緒に遊ぶ中で、順番を待つことや助け合う姿が見られた。サーキット活動を通して、ペアやグループでの協力活動を取り入れ、互いに声をかけ合いながら達成感を味わう経験を積むことで、

2 活動スケジュール

令和7年4月～令和8年3月の期間・週1回程度実施

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

平均台・マット・プールスティック・踏み台、段差ブロック・安全確認用マット・記録用カメラ・記録用紙

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

ジャンプや走る、しゃがむ、投げるなどの基本動作を組み合わせたサーキットを実施した。見本や声掛けを加え、子どもが理解しやすい工夫を行った。体を動かす楽しさを重視した。

〈活動中のこどもの姿、声、こども同士や保育者との関わり〉

二人一組でコースの運び物やボールパスを行い、友だちと関わりながら協力する場面を取り入れた。

サーキット講師や保育者が「いっしょに持ってみようね」「こっちから渡すね」と声をかけ、安心して取り組めるようにした。子どもたちは「いくよ」「どうぞ」と言葉や身ぶりでやりとりしながら、ボールの受け渡しや物を運ぶことを楽しんだ。難しい場面では援助を受けながら、繰り返し挑戦できるように構成した。



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

協力体験を通して、子どもたちが友だちと関わりながら活動する様子が見られた。友だちと一緒に取り組む中で、思いやりややりとりが生まれ、安心して関わろうとする姿がうかがえた。特に、目標を達成したときに喜び合う姿から、友だちとの経験が安心感や意欲につながっていることが感じられた。今後も、協力して関わる機会を大切にしながら、子どもたちの主体的な関わりを促していきたい。